

こんにちは! 社協です!!

ふれあいネットワーク

2015

11月

No.125

特集 P2・3

12月1日から
はじまります

歳末たすけあい運動

あったかい地域づくり



ひ孫と
いっしょ

波賀町 上野 シリーズ124

やまだ えみこ
山田 恵美子さん(88歳)

しょうた
○翔大くん(4歳)

やまだ けいこ
山田 恵子さん

■長男



12月1日から
はじまります

あったかい地域づくり

歳末たすけあい運動

子どもたちの夢を育むサンタクロース派遣事業
(一宮北保育所)

今年度も12月1日から「みんな
でささえあう あったかい地域づ
くり」をスローガンに全国一斉に
「歳末たすけあい運動」が実施され
ます。
穴栗市社協では、みなさまから
の募金を活用し、歳末ならではの
地域福祉活動に取り組めます。

あなたの気持ち^が
穴栗^{まち}をあたためる

歳末たすけあい運動は、新たな
年を迎える時期にだれもが地域で
安心して暮らすことができるよう
に、さまざまな地域福祉活動を行
うことを目的に実施しています。

穴栗市社協では、民生委員児童
委員や業者のみなさまの協力で、
「社協特製カレンダー」の配布や
「歳末特別給食」「あったか灯油配
達サービス」「雪かきサービス」
などを行います。

歳末に地域で支えあう取り組み



灯油はガソリンスタンドから
届けていただきます

は、高齢者世帯への訪問やサービ
スの実施にとどまらず、顔が見え
る関係での安否確認・見守り活動
にもつながっています。
これらの、地域で支えあう取り
組みの財源は、市民のみなさま
からお寄せいただく「歳末たすけ
あい募金」です。
12月初旬から自治会関係者のみ
なさまが募金を呼びかけて下さい
ます。歳末たすけあい運動につい
て、ご理解とご協力をお願いします。

(本部・一宮支部 三宅あゆみ)





兵庫県共同募金会マスコット
「あかはねちゃん」

だれもが安心してお正月を迎えられるように 歳末たすけあい運動

「※」の事業は、民生委員児童委員さんを通じてお申込みください。

特別給食サービス ※



75歳以上のひとり暮らし高齢者の方へ、12月30日にお弁当を社協の役職員がお届けします。
(昨年度実績 449名)

サンタクロース派遣事業

クリスマスの催しをされる市内の保育園、幼稚園を対象にサンタクロースを派遣します。
(昨年度実績 12か所)

※プレゼントは申請者でご準備ください。

赤い羽根こども劇場

子どもたちが児童劇を楽しむ機会を提供します。詳しくは8項をご覧ください。
(昨年度 822名参加)

買い物送迎バスお出かけ号



お住まい周辺に商店がない地域で、概ね75歳以上のひとり暮らしや家族に運転する方がいない方を対象に買い物バスを運行します。

(山崎町小茅野・波賀町北部地域)

赤い羽根 あったか灯油 配達サービス ※

75歳以上のひとり暮らし高齢者の方へ灯油(18ℓ)をお届けします。
(昨年度実績 230名)



カレンダー 配布サービス ※

75歳以上のひとり暮らし高齢者の方に、大きくて見やすいカレンダーを民生委員さんを通じてお配りします。
(昨年度実績 767名)



雪かきサービス ※



70歳以上のひとり暮らし高齢者、ふたり暮らし高齢者世帯のご自宅から生活道までの雪かきをシルバー人材センターに委託して行います。

(25年度実績 153件)

新入学児童 ランドセル購入 助成事業

募集中
締切
2/29



平成28年4月に小学校へ入学する子どもさんのおられる一人親家庭、両親ともおられないご家庭に、ランドセルを購入する費用の一部を助成します。

(昨年度実績 27件)

上記の事業を行うため、募金は366万円を目標にしています。

みなさまのあたたかいご協力をお願いいたします。

宍粟市共同募金委員会 宍粟市社会福祉協議会

や

まさき

ご近所ボランティアを始めよう!

上ノ上福祉連絡会

上ノ上自治会は、本会の小地域福祉活動モデル地区として、住民同士の絆を深める世代交流の場を増やし、自治会の福祉について考える学習会など計画的に取り組まれています。

10月25日(日)開催の学習会では、昨年に引き続き「自治会内の見守りや支え合いについて考えよう」をテーマに、63人が参加されました。

今年、見守り活動はおおむねできていることから、さらに支援が必要な方の日常生活を地域で支える仕組み「ご近所ボランティア」について話し合いました。

この日の参加者は、自治会の三分の一で、その半数以上の方が「これからは隣近所で支え合いが必要に



ふれあい喫茶の後に学習会。住民みんなで自治会の現状について考えました。地域の抱える問題や必要な取り組みが見えてきます(上ノ上公民館)

なる」と感じている方が多く、その必要性について学ぶことができました。

矢野賢一自治会長は「福祉連絡会で話し合いを重ねこの仕組みを広げていかなあかん」と感想を語られました。

困った時は、お互い様の気持ちで、近所同士で支え合う『ご近所ボランティア活動』が地域で進んでいくように社協も関わっていきます。

(山崎支部 森井裕矢)

い

ちのみや

地域と歩んで35年

チェシャールームはりま自立の家

はりま自立の家は、1985年の国際障害者年に一宮町伊和に建設され、この11月1日で35周年を迎えました。

これを記念して、10月24日(土)午後、「煙儀文さんのホッとするコンサート」が行われ入居者や職員、市民など約100人が参加しました。

煙儀文さんは日本を代表するテノール歌手。この日は「ローレライ」や「赤とんぼ」「里の秋」などドイツや日本の名曲を約1時間にわたり披露。35周年に相応しい心あたたまるコンサートでした。

同施設は、社会福祉法人ひょうご障害福祉事業協会がイギリスの「チェシャールーム」の精神に共鳴して、日本の福祉法のもとで新しい考え方の「家」を福祉施設として運営しようとして設立されました。

同法人理事長の片岡寛さんは、ご自身も重度の障がい者です。コンサートの後「いろ



35周年記念コンサート(はりま自立の家)

んな問題があつたが地域の皆さんの応援をいただき、家庭にかわる第二の家として、入居者みんなが家族のようにして創ってきた歴史があります。次の35年にむかつて頑張っていこう」と歩みを感じ深く振り返りながらあいさつされました。

社協も精いっぱい応援してきました。さらに大きな歩みとなるようこれからも共に頑張っていきたいと思います。

(二宮支部 山本正幸)

や・い・は・ち トピックス

青空の下みんながつどう

日見谷福祉連絡会

日見谷自治会では、昨年度から2年間、モデル地区の指定を受けています。「ふれあい喫茶以外にも福祉委員の活動を広げよう」と福祉連絡会で協議し、防災訓練やしめ縄づくりなど地域の様々な行事に福祉委員が関わり、活動の充実に向けて取り組んでいます。

10月25日(日)、コス

モスマツリが開催され、90人の参加者でにぎわいました。

当日の運営には福祉委員、自治会役員、ボランティアが関わり、おでんやお餅がふるまわれました。

「夏頃からコスモスの成長が見えて、楽しみに待ってたんですよ」と、参加者からは開催を喜ぶ声が聞かれました。

「自治会長さんをはじめ、地域みんなが協力的に関わってくれるの

で、私たちも活動しやすいです」と代表福祉員の岸根宇多子さん。

コスモス畑という新しく始めた取り組みが、花言葉のよさに地域に「調和」をもたらす、見守りや声かけ活動にも広がっていくよう社協もいっしょに考えていきます。

(波賀支部 平 有利香)



コスモスは、クリーン作戦の時に自治会で協力して休耕田に種をまいて育ててきました(日見谷) ※コスモスの花言葉:調和

おしゃべりはたのしいなあ

介護者のつどい「あゆみの会」

毎月第2火曜日に開催している介護者のつどい「あゆみの会」。

10月13日(火)は、「エーガイヤ デイセンター」を会場に茶話会を行い、お話し相手の傾聴ボランティア「ロバの耳」のみなさんと交流しました。

あゆみの会の会員とロバ

の耳のみなさんは初対面でしたが、自己紹介に始まり、ゲームを交えながら

会話がはずみました。いつも顔なじみで、お互いの悩みや愚痴をはなされる会員も、「心安いわあ。初めて会う人と思えないくらい」「いつもと違う方のおしゃべりは新鮮。リフレッシュできる」と、お茶を飲みながら、笑顔でお話されていました。

「介護者の気持ちに寄り添った会話を、と気負っていたが、いっしょに楽しめた。また、寄らせてね」と、ロバの耳代表の河井則男さん。

「介護者の気持ちに寄り添った会話を、と気負っていたが、いっしょに楽しめた。また、寄らせてね」と、ロバの耳代表の河井則男さん。

様々な方に関わっていただきながら、あゆみの会の取り組みが、少しでも介護されるみなさんのストレス解消やリフレッシュの場となるよう寄りそっていきます。



会員10名とボランティア4名が参加。「ロバの耳のみなさんと一緒に、今日は楽しいなあ(エーガイヤ デイセンター)

はが

ちくさ

登録者
募集!

豪雪時の 雪かきボランティア

この冬大雪が降り、高齢者や障がいがある方の生活に大きな影響が生じる場合に備え、社協では「雪かきボランティア」の登録者を募集しています。

積雪時、高齢者や障がい者の生活を守るこの活動にご協力ください。

登録者 高校生以上で健康な方

登録募集(活動)期間

平成27年12月1日(火)～平成28年3月14日(月)

登録から活動までの流れ

- ①登録用紙に記入いただき、申込みをしていただきます
- ②雪かきボランティアによる支援が必要となった時に、登録者に連絡し、雪かきチームを編成し活動に取り組みます

問合せ先 本部 Tel.72-8787



アイロンかけ ボランティア

急募!



社協の配食サービスは、調理、配達、弁当包みのアイロンかけなど、様々なボランティアの協力で成り立っています。

この度、波賀支部ではお弁当箱の風呂敷にアイロンをかけるボランティアを募集します。

必要な道具は準備しますので、みなさんぜひご協力ください。

と き 偶数月の水曜日
午後1時30分～ 1時間程度

ところ メイプル福祉センター

問合せ 波賀支部:75-3631



ボランティア
センター日誌

～被災地で活動した ボランティアに聞く～



ボランティア活動に行ったきっかけ等話をいただきました

10月10日(土) 宍粟防災センター

9月18日から開講した全3回の災害ボランティア養成講座の日程が終了しました。

この日は、「被災地で活動したボランティアに聞く」と題して、大岩辰勇さん(山崎町)、長川真由美さん(山崎町)から体験談を話していただき、災害ボランティアの心得を学びました。

受講生からは、「ボランティアは自分のためであり、相手のためにもなる。自分に出来ることをやっていきたい」などの感想が聞けました。

受講生のみなさん、今回の学びを今後の活動に活かしてください。

(山崎支部 横山洋子)

宍粟市総合防災訓練で 災害ボランティアセンターを設置



災害ボランティア活動について真剣に話を聞く児童たち

11月1日(日) 山崎西小学校体育館

宍粟市に震度6強の地震発生を想定した宍粟市総合防災訓練が山崎西小学校を会場に行われ、本会では行政や関係機関と連携した災害ボランティアセンター(以下災害VC)の設置訓練を行いました。

災害VCは被災地に駆けつけたボランティアと被災地域から「手伝ってほしい」という支援ニーズを『調整』して活動につなげる役割があり、大規模災害時には社協がこの災害VCを運営し、救援活動に取り組めます。

参加者からは「災害時に社協が災害VCを設置することをもっとPRしてほしい」という言葉をたくさんいただきました。平時からの情報発信や日々の備えの重要性を再確認する訓練となりました。

(本部 田中祥仁)